

黒崎中学校区合同学校運営協議会 通信 特別号

2022年12月12日
黒崎中学校区
学校運営協議会

11月16日(水)

第3回 黒崎中学校区合同学校運営協議会開催：黒崎中学校視聴覚室にて



新潟市は、未来を担う子どもの豊かな成長を「地域総がかり」で支える仕組みであるコミュニティ・スクールを導入し、次のステージである「地域とともにある学校」づくりに踏み出しました。そして今年度「学校運営協議会」が立ち上がり、学校運営の基本方針を共有し、学校運営や子どもに必要な支援についてそれぞれの学校で話し合われています。一年に一回は中学校区で合同の会議を開催し、地域総がかりで黒崎地区の子どもの成長を支える体制を整える計画です。先月初めて行われた合同会議の様子を紹介します。

合同会議は、大野小学校、黒崎南小学校、山田小学校、立仏小学校の4小学校と黒崎中学校の運営協議会委員総勢50名の委員が出席しました。初めに黒崎中学校運営協議会の遠藤正尚会長から、「この新しく立ち上がった学校運営協議会が各学校と舵を切りながら、地域総がかりで未来ある子どもの成長を支えて行きたい。」と開会の挨拶がありました。



会議内容は、

- ① 令和4年度 各学校の教育活動の特色や様子（各校長より）
- ② 令和4年度 学校におけるいじめ、不登校問題及び令和3年度のメディア実態の新潟市との比較（各校教頭より）
- ③ 各校のメディア活用の実態とルールづくりや家庭との連携についての意見交換、アウトメディア宣言の実施に向けて有効な手立てを共有する。

合同会議開会挨拶をする黒崎中学校遠藤会長



各校の教育活動の特色や様子
について話す各校の校長



学校における、不登校問題やメディア実態の
新潟市との比較について話す各校の教頭



メディア活用についての意見交換では、

- ・生徒の朝の登校時にいつもと違う様子（疲れている・寝不足等）が伺える時がある。（見守り隊）
- ・小学校の生徒は下校時間が親より早い。帰ってからの様子がわからない。
- ・家庭でのルール作りが必要。（約束を守れた時にはポイントを付ける等ゲーム感覚で）
- ・正しくないメディア使用が及ぼす身体への影響をしっかりと伝える。と様々な意見がありました。

最後に、大野小学校運営協議会の本間寿美会長から、「メディアは昨今生活から切り離せるものではない。いかに上手に使用するか、使い方次第である。周りの大人の多くの意見が大事。地域の中で挨拶を交わせる、そんな地域になるように願っている。」と閉会の挨拶がありました。

通信作成：黒埼中学校学校運営協議会 CS事務員 鷺尾 里織